

事業名	教育用コンピュータ導入事業
-----	---------------

総事業費	14,781 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図		(1) 情報教育の充実 (2) 校務の効率向上
事業の実績 と 成果	取組内容	・セキュリティの向上や各学校間のネットワークを構築するために庁舎内にセンターサーバーを設置する。また、全学校に校務支援システムを導入する。 ・既存のパソコン等の修繕及び廃棄を行う。
	成 果	令和元年度は庁舎内に学校センターサーバーを設置し、市内全小・中学校に校務支援システム（情報共有システムミライム）の導入を行った。これにより、各学校間のネットワークが構築され、校内外での教職員間の情報共有が可能となった。また、市内大規模校である榕城小学校と種子島中学校に統合型校務支援システム（スズキ校務）を導入し、事務処理の効率化に向けて基盤を築くことができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	各校務支援システムの規定や管理について整備する必要がある。また、GIGAスクール構想の実現にむけて、教育用PC児童生徒一人一台の導入が急務である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	センターサーバー化と校務支援システムの導入により、教員の業務改善を支援する環境づくりを推進することができた。併せて、令和2年度はタブレット型端末導入校への導入やテレビ会議システムの全小学校への配置を予算化することができた。国のGIGAスクール構想の動向も踏まえながら更なる環境整備を推進するとともに、教員と児童生徒のICT活用能力の向上のための取組も、鹿児島大学との連携の更なる充実を図りながら進めたい。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	・教育用PC児童生徒一人一台の計画的な導入を実施する。 ・テレビ会議システムの導入を実施する。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	小規模校特認通学制度通学支援事業
-----	------------------

総事業費	2,079 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図	小規模校の特性や地域の特色を活かした環境の中で、心身の健康増進、体力づくりとともに学ぶ楽しさを身につける。また、児童を確保し、小規模校を存続させ、また複式学級の解消の一助とする。	
事業の実績と成果	取組内容	・特認通学生世帯へ、通学補助金事務を行う。 ・タクシー利用での特認通学生がいるため、タクシー会社との運行業務委託契約を行う。 ・特認通学制度の周知活動を行う。（広報誌等での紹介や、新1年生保護者への案内文発送等）
	成果	広報紙等での紹介や保護者への案内文発送による周知により、毎年一定数の方が本事業を活用している。また、特認通学生がいることにより、小規模校運営における教育活動の活性化にもつながっている。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	本市の人口減傾向を背景とし、小規模校存続を可能とするうえで特認通学生の確保は重要であり、今後も広く周知していく必要がある。現在、榕城小、下西小校区在住の方を特認通学生の対象としているが、児童数が減少している現状に鑑み、校区については今後、検討していく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	小規模校の児童・学級数確保という意義だけでなく、特認校制度を利用する児童・保護者にとっても小規模校の教育環境や教育活道のよさを実感していただけているという点でも必要性のある事業であるとする。今後は、市内の全校で児童数が減少傾向となっていることを踏まえた制度運用の在り方の点検と、制度の効果的な周知を推進していく必要がある。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	昨年度に引き続き、特認通学生世帯を支援するため、円滑な補助金事務及びタクシー運行委託契約事務が行えるよう努める。また、本市の人口減傾向を背景に、小規模校存続を可能とするうえで、特認通学生の確保は今後重要度を増すものと想定されることから、さらに広く周知を行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	西之表市「種子島しおさい留学」里親等支援事業
-----	------------------------

総事業費	4,653 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図	種子島での生活のなかで、豊かな体験活動や小規模校の特色を活かした教育活動を通して、対象児童の生きる力を育む。また、また、児童数減少等の課題を解決する。	
事業の実績と成果	取組内容	・里親等を支援するための補助金事務を行う。 ・推進連絡協議会へ補助金を支出し、その運営を支援する。（市HPでの情報発信やポスター配布による広報、協議会や各種行事の実施等） ・次年度受入に向けて、総務課と連携し、住宅修繕を行う。また、家電を購入するなど、受入体制を整備する。
	成果	・各校区の実行委員会との連携を図ることで、里親等への補助金事務を滞りなく行うことができた。 ・推進連絡協議会の運営を支援することで、留学生の交換会等各種行事の充実化や、広報規模の拡大が図れている。2020年度は留学生数の受入増及び新規里親確保を実現した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	2019年度から親子留学を開始するため、平成30年度は留学実施要綱を改正した。3月末時点で、1世帯（留学生2名）の親子留学が確定しており、4月から受入を開始するが、要綱が実態に沿うか、適宜見直しが必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	各校区実行委員会の主体的・積極的な取組や、多様な広報活動の成果により、令和元年度はもちろん令和2年度に向けた留学生受け入れも大きな成果をあげることができた。次年度へ向け、各校区実行委員会と連携した里親留学の拡充や親子留学の環境整備による留学生増と、小規模校及び校区の活性化を図るための年間を見通した計画的な取組の充実を図りたい。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	昨年度に引き続き、里親等を支援するため、円滑な補助金事務に努める。また、留学生及び里親を確保、及び留学の有効化を図るため、西之表市「種子島しおさい留学」推進連絡協議会の運営事務も支援していく。昨年度から開始した親子留学が軌道に乗るよう、受入体制整備を強化し、拡充を図る。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	給食センター調理機器等更新事業
-----	-----------------

総事業費	7,020 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図			老朽化した調理機器等を更新することにより、安心・安全な給食が提供できる。
事業の実績 と 成果	取組内容	老朽化した調理機器等を更新することにより、安心・安全な給食が調理できる調理機器へ整備・更新できた。 連続式揚物機 1台×7,020,000円	
	成 果	2学期からの給食提供に間に合うように6月までに入札・発注まで完了できた。	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特に問題は生じていないが、今後も順次計画に沿って継続していきたい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	給食業務に支障がないよう、長期休業時期に機器更新作業がスムーズにできたと評価している。老朽化した機器がほかにもあり、定期的に順次更新する必要がある。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	2学期からの給食提供に間に合うように6月までに入札・発注まで完了させる。
-----------	--------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	学校給食費無償化事業
-----	------------

総事業費	13,705 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図		保護者の経済的負担の軽減を図り、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進する。
事業の実績 と 成果	取組内容	義務教育期間中の子を2人以上養育している世帯で第2子以降の児童生徒の給食費を補助する。 小学校→297人 12,297,460円 中学校→28人 1,407,280円
	成 果	保護者の経済的負担の軽減を図り、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進することはできたが、一方1人のみ養育している世帯からの要望が多かった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特に問題は生じていないが、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進することが目的であることを今後保護者へ周知徹底していきたい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	保護者の経済的負担の軽減を図る上において、効果があり、事業そのものについては評価できる。制度については、近隣市町村で第1子目から無償化しているところもあるので、今後研究検討の余地はあると考える

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	学校を通じて保護者からの学校給食費補助金申請書を受取り、対象者を把握して早目に審査し決定通知を速やかに実施する。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	給食センター施設補修事業
-----	--------------

総事業費	756 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図		洗浄室床を塗床補修することで、調理員が安心安全に学校給食洗浄業務が実施できる。
事業の実績 と 成果	取組内容	老朽化した給食センター洗浄室床を塗床補修する。(60㎡)
	成 果	洗浄室床を塗床補修することで、調理員が安心安全に学校給食洗浄業務が実施できる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特に問題は生じていないが、今回の修繕は洗浄室の一部であったため、残りの部分は予算・安全性を考慮しながら今後検討していきたい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	調理員の安全を確保する上で大変重要な修繕であり評価している。しかしながら、今回の施工は1部の床面であり、今後も安全を確保するため早い時期での補修が必要であるとする。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	令和元年度事業終了
-----------	-----------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	学校施設長寿命化計画策定事業
-----	----------------

総事業費	10,890 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図		長寿命化計画を策定することにより計画的な施設の改修を行うことができる
事業の実績 と 成果	取組内容	コンサル業者と密に連携し、実効性のある計画の作成に努めた。
	成 果	施設の実態に応じた長寿命化計画を作成した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	今後の改修計画に重要な計画策定であり評価している。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	2019年度で事業完了。
-----------	--------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	小学校特別教室空調整備事業
-----	---------------

総事業費	15,974 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図		児童の教育環境の向上に寄与する。
事業の実績 と 成果	取組内容	市内小学校の全図書室に空調を整備した。
	成 果	市内小学校の全図書室への空調整備が完了した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	温暖化の影響で室内気温が上昇傾向の中、今回特別教室（図書室）であるが全校対象の教室に空調設備を整えたことは大変評価できる。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	2019年度で事業完了。
-----------	--------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	市内小学校の図書館に空調設置

事業名	小学校施設改修事業
-----	-----------

総事業費	28,774 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図			児童の教育環境の向上に寄与する。
事業の実績 と 成果	取組内容	安城小屋外トイレ、現和小渡り廊下、榕城小グランド排水設備の改修に取り組んだ	
	成 果	計画通り施設の改修を実施できた	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	現場からの要望に応えるべく整備できたことは評価できる。特に榕城小グランド排水設備工事については、やり直しともなる大掛かりな改修となったが、状況判断や施工手段等しっかり行う中で、想定してい運動会前までの期間で予定通り完了することができた。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	国上小学校に自動火災報知設備を整備する。
-----------	----------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	安城小屋外トイレ

事業名	小学校空調整備事業
-----	-----------

総事業費	14,685 千円
------	----------------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図			児童の教育環境の向上に寄与する。
事業の実績 と 成果	取組内容	小学校の全普通教室に空調を整備するための実施設計の作成に取り組んだ。	
	成 果	計画通り実施設計を行うことができた。	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	今後各小学校教室に空調を設置するために必要な事業であり、評価できる。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	国上・安納・現和・安城・古田・住吉小学校の全普通教室に空調を整備する。
-----------	-------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	旧中学校施設維持管理事業
-----	--------------

総事業費	4,110 千円
------	---------------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図			施設の適正管理、危険防止を図る
事業の実績 と 成果	取組内容	維持管理に必要な施設、設備の修繕等を実施。	
	成 果	施設の安全かつ効果的な利用ができた	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	校区へ管理を委託することで、地域住民が利用しやすい環境を維持する上で重要な事業であり評価できる。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	建物の老朽化が進んでいるため、改善の必要がある箇所については、随時修繕等を加えながら対応している。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	スクールバス管理事業
-----	------------

総事業費	38,960 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図		・遠距離通学児童・生徒の通学の負担を軽減する。 ・学校行事等で使用することにより、負担軽減と利便性向上が図られる。
事業の実績 と 成果	取組内容	毎月15日までに翌月分の中学校・学校行事等による運行予定表を提出してもらい、委託業者と調整を行う。各学校の学校行事等での使用については、送迎時間に支障のない時間帯とし、学校・委託業者・市教委で調整を行う。 スクールバスの維持管理及び安全な運行管理を行うとともに、それに伴う予算等を執行する。
	成 果	スクールバスの運行に特に大きな問題もなく、安全な運行管理に努めることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	中学校を統合する上で、通学に重要な役割を担っている事業である。かつ、学校行事への有効活用もできており、通学以外においても効果を上げている。今後も引き続き安全運行に努め、学校行事等含め効果を期待するところであり、評価できる。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	安全で円滑なスクールバスの運行を行う。
-----------	---------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	中学校空調整備事業
-----	-----------

総事業費	3,080 千円
------	---------------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図			生徒の教育環境の向上に寄与する。
事業の実績 と 成果	取組内容	小学校の全普通教室に空調を整備するための実施設計の作成に取り組んだ。	
	成 果	計画通り実施設計を行うことができた。	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	今後中学校教室に空調を設置するために必要な事業であり、評価できる。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	快適に学習できる環境整備に重要な事業である。今年度中に設置工事を完了する。
-----------	---------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	中学校プール整備事業
-----	------------

総事業費	3,944 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図		生徒の教育環境の向上に寄与する。
事業の実績 と 成果	取組内容	中学校にプール施設を整備するための実施設計の作成に取り組んだ。
	成 果	計画通り実施設計を行うことができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	プールの建設が承認され、期待されているところである。本年度は建築するための実施設計業を行ったところであるが、学校の意見を十分取り入れたいとの市長指示で、調整に多少時間を費やしたが予定の時期に完了ができたと評価する。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	今年度中にプール整備工事を完了する。
-----------	--------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	修学旅行費助成事業（小学校）
-----	----------------

総事業費	1,615 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図		経済的負担の軽減につながる。公平な義務教育の享受につながる。
事業の実績 と 成果	取組内容	市内小学校の修学旅行対象児童の属する世帯(高度へき地学校に就学する児童の世帯及び要保護・準要保護児童世帯は除く)に対し、1人当たり17,000円の補助を実施。
	成 果	対象者の経済的負担軽減につながった。高度へき地学校や、要保護・準要保護児童世帯に対する扶助費と同額の補助を行い、公平な義務教育の享受につながった。

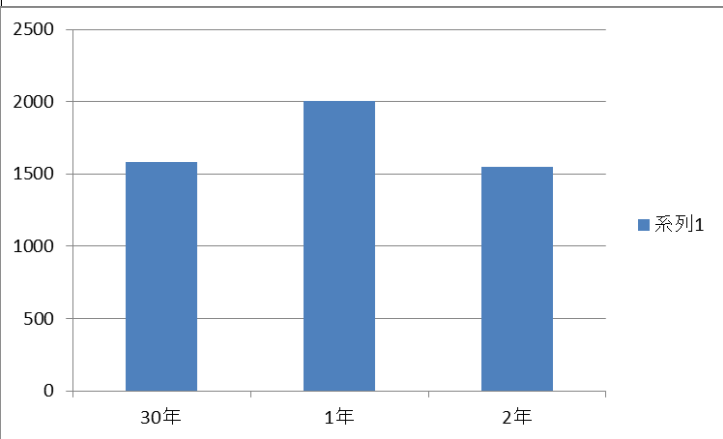
③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事務に遺漏の無いように実施する。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	西之表市補助金等交付規則に基づき適正に処理に努め、支給事務において問題は生じていない。高度へき地学校に就学する児童に対しては経済的負担の軽減につながるが、高度へき地学校以外の学校からの不公平感が否めない。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	西之表市補助金等交付規則に基づき適正に処理する。 計画通り修学旅行が実施できることを望む。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明								
 ■ 系列1 <table border="1"> <caption>修学旅行費助成事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30年</td> <td>1600</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>2000</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>1550</td> </tr> </tbody> </table>	年次	金額 (千円)	30年	1600	1年	2000	2年	1550	決算額（予算額）をグラフにしたもので、R1は上昇したが横ばい傾向にある。
年次	金額 (千円)								
30年	1600								
1年	2000								
2年	1550								

事業名	遠距離通学支援事務(小学校)
-----	----------------

総事業費	29 千円
------	-------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図		保護者の経済的負担の軽減を図る。
事業の実績 と 成果	取組内容	学校長を通じて交付申請を受け、審査のうえ、該当者には学校長を通じて補助金の交付を行った。
	成 果	保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学を円滑にした。

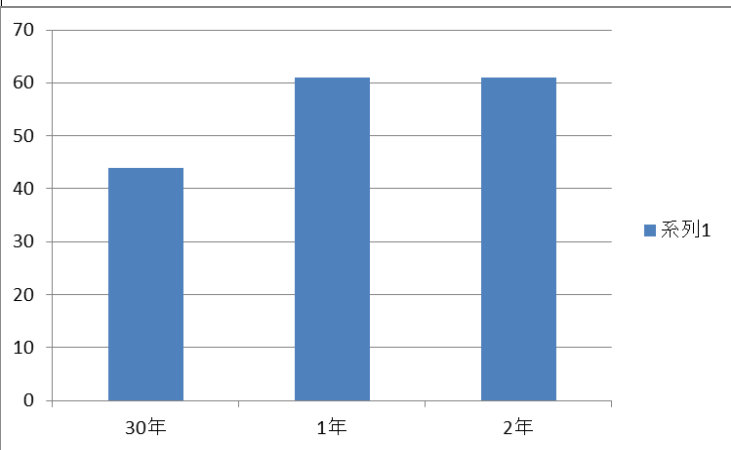
③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事務に遺漏の無いように実施する。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	西之表市立小中学校通学費補助交付規則に基づき適正に処理に努め、支給事務において問題は生じていない。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	規則に基づき、適正に処理していく。
-----------	-------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
 Bar chart showing the amount of subsidy (in thousands of yen) for three years: 30 years (approx. 45), 1 year (approx. 62), and 2 years (approx. 62). The y-axis ranges from 0 to 70. The legend indicates 'Series 1'.	決算額（予算額）をグラフにしたもので、横ばい状態である。

事業名	通級援助事務
-----	--------

総事業費	0千円
------	-----

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図			経済的負担の軽減を図る。
事業の実績 と 成果	取組内容	学校長を通じて交付申請をの有無を確認したが、該当者がおらず、補助金の執行なしとなった。	
	成 果	該当者がおらず、補助金の執行が無かった。	

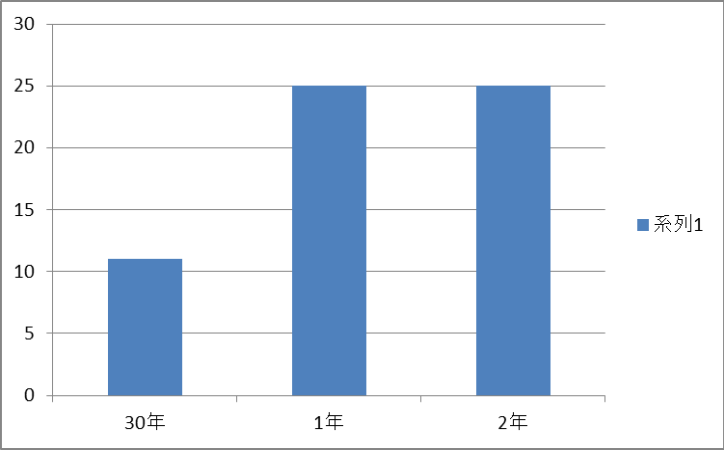
③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事務に遺漏の無いように実施する。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	西之表市立小中学校通学費補助交付規則に基づき適正に処理に努め、支給事務において問題は生じていない。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	西之表市立小中学校通学費補助交付規則に基づき、適正に処理する。
-----------	---------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明								
 <table border="1"> <caption>決算額（予算額）の推移</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30年</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>	年次	金額	30年	11	1年	25	2年	25	決算額（予算額）をグラフにしたもので、上昇傾向にある
年次	金額								
30年	11								
1年	25								
2年	25								

事業名	就学援助事業(小学校)	総事業費	11,763 千円
-----	-------------	------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図			経済的な理由により、就学が困難な家庭の負担を軽減する。
事業の実績 と 成果	取組内容	要保護及び準要保護児童、特別支援学級に通級する児童について、経済的な理由により就学困難対象と思われる児童の保護者から援助申請を受理。申請の内容を精査し、真に経済的な理由により就学困難と思われるものに係る認定通知を各学校へ送付。学用品費・学校給食費・修学旅行費・医療費等について、支給を行った。	
	成 果	保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学を円滑にした。 平成29年度からの取組として、平成30年度の新入学生に対する新入学用品費の入学前支給を実施。令和1年度からの取組として、給食費の現物支給を実施。	

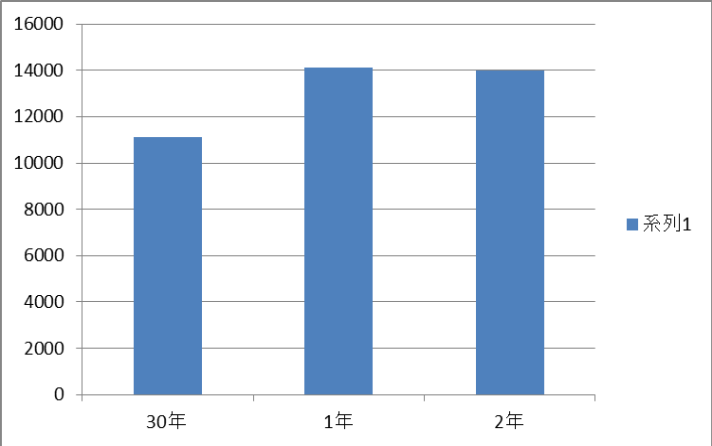
③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事務に遺漏の無いように実施する。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	西之表市就学援助費支給要綱に基づき適正に処理に努め、支給事務において問題は生じていない。 申請の漏れが無いよう制度の周知が必要。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	西之表市就学援助費支給要綱に基づき適正に処理する。
-----------	---------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	決算額（予算額）をグラフにしたもので、横ばい状態である。

事業名	図書館図書整備事業（小学校）
-----	----------------

総事業費	1,170 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図	各学校の図書蔵書数を増やすことで多様な読書活動を推進し、情操教育を充実させ、豊かな人間性の育成を図る。	
事業の実績 と 成果	取組内容	学校にて図書を選定・購入し、予算執行を庶務係にて行う。
	成 果	予定していた冊数には満たなかったが、蔵書数を増やすことができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事務に遺漏のないように実施する。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	西之表市立小中学校通学費補助交付規則に基づき適正に処理に努め、支給事務において問題は生じていない。図書標準充足率が80%以上となるよう計画的に達成に向け取り組んでいる。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	対象となる学校の図書担当者及び司書と連携をとり、予算内において図書購入をすすめる。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明								
<table border="1"> <caption>図書購入数（推定値）</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>購入数（冊）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30年</td> <td>1400</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>1200</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>1900</td> </tr> </tbody> </table>	年次	購入数（冊）	30年	1400	1年	1200	2年	1900	決算額（予算額）をグラフにしたもので、R2は全小学校への購入となったため、予算額が上昇した。。
年次	購入数（冊）								
30年	1400								
1年	1200								
2年	1900								

事業名	遠距離通学支援事務(中学校)
-----	----------------

総事業費	100 千円
------	-------------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図			保護者の経済的負担の軽減を図る。
事業の実績 と 成果	取組内容	学校長を通じて交付申請の有無を確認したが、該当者なしとのことで予算執行なし。	
	成 果	該当者がおらず、予算執行なし。	

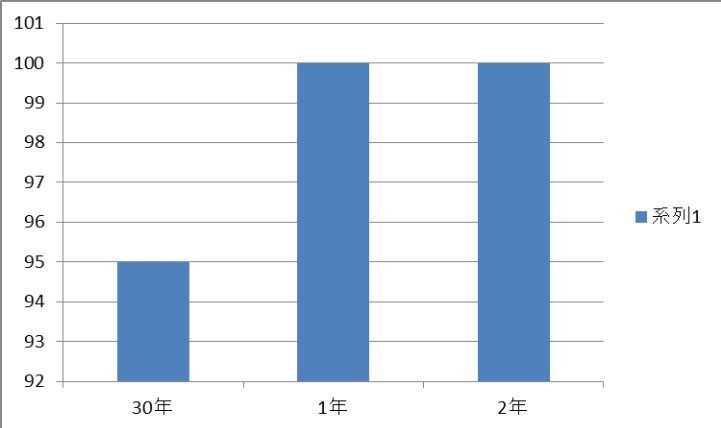
③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事務に遺漏のないように実施する。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	西之表市立小中学校通学費補助交付規則に基づき適正に処理に努め、支給事務において問題は生じていない。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	西之表市立小中学校通学費補助交付規則に基づき、適正に処理する。
-----------	---------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
 ■ 系列1	決算額(予算額)をグラフにしたもので、横ばい状態である。

事業名	就学援助事業(中学校)	総事業費	10,564 千円
-----	-------------	------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図			経済的な理由により、就学が困難な家庭の負担を軽減する。
事業の実績 と 成果	取組内容	要保護及び準要保護生徒、特別支援学級に通級する生徒について、経済的な理由により就学困難対象と思われる生徒の保護者から援助申請を受理。申請の内容を精査し、真に経済的な理由により就学困難と思われるものに係る認定通知を各学校へ送付。学用品費・学校給食費・修学旅行費・医療費等について、支給を行った。	
	成 果	保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学を円滑にした。 平成29年度からの取組として、平成30年度の新入学生に対する新入学用品費の入学前支給を実施。令和1年度からの取組として、給食費の現物支給を実施。	

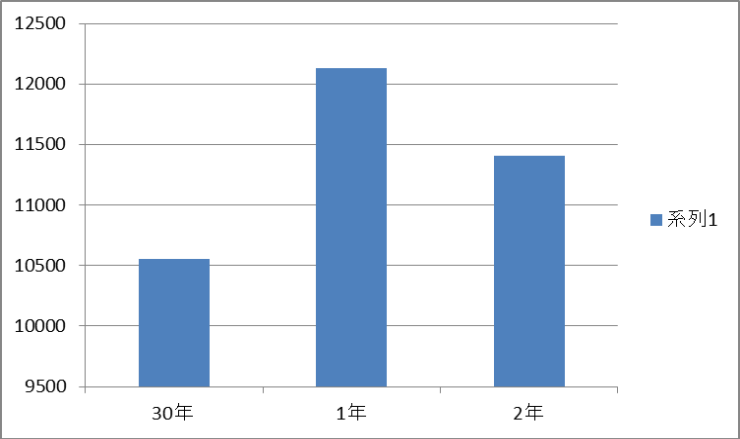
③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事務に遺漏の無いように実施する。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	西之表市就学援助費支給要綱に基づき適正に処理に努め、支給事務において問題は生じていない。 申請の漏れが無いよう制度の周知が必要。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	西之表市就学援助費支給要綱に基づき適正に処理する。
-----------	---------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
 ■ 系列1	決算額（予算額）をグラフにしたもので、毎年変動がある。